

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立

## 東宮下小学校



1 「かしこく・やさしく・たくましく・一生懸命に」を学校教育目標に、『豊かな心をもち、互いに認め合う児童の育成』を推進しています。

2 豊かな自然環境を生かした、地域での体験活動の重視した教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市見沼区東宮下 215 番地 1

■電話：048-685-3652

■FAX：048-685-5119

■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩 30 分

### 01 地域の米作りから学ぶ

田植えから稲刈り、そして秋祭りに至るまでの体験活動へ



本校では、校区に広がる見沼たんぼの一部をお借りし、地域の農家の協力を得て、「学校ふれあい田」として、全学年で春には田植え、秋には

稲刈り、そして収穫した米を活用した秋祭り「宮下まつり」を企画・体験する活動を行っている。

春、1 学年児童は、田んぼの泥に苦戦しながら上級生の手助けもあって、稲の苗を植える。学年が上がるごとに田植えの手つきや、稲刈りの鎌の扱いに慣れ、6 年生ともなると友達と協力しながら、あっという間に稲を収穫していく。

また、5 学年では、総合的な学習の時間のテーマを、「これからも米作りを続けていくには～東宮下米づくりを通して～」とし、地域の米作りについて調査・研究した内容を秋の「宮下まつり」内において、発表している。



### 02 西洋野菜作りから学ぶ

キャリア教育の視点から、児童の「自立」につながる活動へ



本校では、6 学年の職業体験を通じて、会社づくりから利益の運用までの流れを知り、社会人として必

要な資質・能力を身に付けることができるように「西洋野菜づくりと販売の工夫」を取り上げ、学習を進めている。

本年度は、感染症拡大防止の観点からさいたま市アントレスクールの実践はなくなったが、市内の種苗会社から無償で苗を供出していただけることになった。地域連携コーディネーターを通じて連携を図り、学級担任が、地域の企業の力を借りて学習を進めている。

児童は、実際に学校畑で西洋野菜を植えて育てている。害虫が発生しても、農薬を使わずに育てる難しさを実感したり、水はけを良くするための側溝づくりや、防風ネットを張るなどの工夫を学んだりしている。また、実際に働く方の話を聞く中で販売の工夫を学び、収穫した野菜を実際に販売し学校に還元していく等の働く喜びを実感させる活動を行っている。

